

2019. MARCH

広報 JAだてし

雪解けが進む有珠山



発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 Tel0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>



NO.617

Japan Agricultural cooperatives

主な内容

豆作・米麦・甜菜合同定期総会開催
伊達市農業青色申告会定期総会
JA伊達市トマト部会栽培講習会
地区別懇談会 その他

3月号

今月号のトピックス

豆作・米麦・甜菜合同

定期総会開催



社道南製糖所をお招きし、各専門知識の観点からアドバイスなど頂き、収入保険制度など新たな制度の説明などもありました。米の部では優良出荷共励会の表彰が行われました。結果は以下の通りです。

最優秀賞 前田 幸彦

出荷数量 583袋

1等比率 100%

良質米生産の部(低タンパク)

きらら397 遠藤 活典

出荷数量 76袋

タンパク 6.9

なたつぼし 大堀 貢

出荷数量 65袋

タンパク 5.4

おぼろづき 荒川 秀雄

出荷数量 58袋

タンパク 7.3

ゆめぴりか 高野 雅輝

出荷数量 10袋

タンパク 6.3

3月4日(月)にホテルローヤルで豆作生産振興協議会(島山義則会長)・米麦改良協会(佐藤哲会長)・甜菜振興協議会(同)の合同定期総会を開催しました。すべての総会において原案通り可決し畑作水稻等に係る合同総会が終了いたしました。

総会には胆振農業改良普及センターやみなみ北海道農業共済組合、北海道糖業株式会社



てん菜農業講習会及び栽培技術講習会開催

2月14日(木)にJA伊達市本所2階会議室にててん菜農業講習会及び栽培技術講習会が開催されました。

講師には日本農業(株)より田勇輔氏、ダウ・アグロサイエンスより大塚浩之氏、BASF ジャパン(株)より四井勝彦氏を講師にお招きし、生産者20名関係機関6名が参加しました。新農薬の紹介と使用方法等

を説明しました。続いて栽培技術講習会には講師に北海道糖業(株)道南製糖所より下田崇正氏をお招きし平成30年産の生産実績や生育不良の原因平成31年産の防除体系の例など今後のてん菜生産の高品質化と生産性向上のための講習を行いました。



伊達市農業青色申告会定期総会

2月15日(金)、JA伊達市本所2階会議室にて平成30年度伊達市農業青色申告会定期総会が開催されました。

舟迫昌光副会長の挨拶の後平成30年度事業並びに会務処理報告、収支決算報告、監査報告、平成31年度事業並びに会務処理計画、収支予算等が審議され、全て原案通り可決されました。

また、役員改選については以下の通りとなっています。

- | | |
|--------|-----------|
| 会長 | 篠原 一寿(留任) |
| 副会長 | 舟迫 昌光(留任) |
| 副会長 | 片平 寿彦(留任) |
| 理事(会計) | 熊澤 太一(新任) |
| 理事 | 小野 裕一(留任) |
| 理事 | 永田 聡(留任) |
| 理事 | 前田 幸彦(留任) |
| 監事 | 三戸部和幸(留任) |
| 監事 | 鈴木 亨(留任) |



J A伊達市トマト部会 栽培講習会

2月15日(金)にJ A伊達市本所2階会議室にてJ A伊達市



トマト部会(佐藤秀徳会長)は平成31年産に向けたトマトの栽培講習会をタキイ種苗(株)より講師を招き実施しました。

参加したのはトマト部会員15名と新規就農を目指し研修中の研修生4組を合わせた23名が受講し、「桃太郎ワンダー」を紹介しました。

トマト品種の桃太郎シリーズと比較し、従来品種よりも草丈が短く、草勢が強いため

追肥のタイミングや施肥量の削減ができることや、秀品率が高く、腰高豊円型で丸みが揃うなど栽培に関するメリットや留意点などの説明を受けました。

平成31年産の作付から導入を検討し反収及び品質の向上を目指します。J A伊達市のトマト取扱量は650トンで税込売上は2億1千万円となり、売上額は昨年よりも20%向上しています。

組合員フォークリフト教習開催

2月12日(火)～14日(木)までの3日間で組合員を対象としたフォークリフト教習をグリーンセンターにて開催しました。

白老町のはぎの自動車学校より講師を招き、組合員15名が教習を受講しました。

1日目に学科講習を行い2日目、3日目に2班に分かれそれぞれ1日ずつ実技講習を受け教習受講者全員が合格し、フォークリフトを安全に



運転する知識と技術を身に着けました。

各課より

お知らせ



グリーンセンターからのお知らせ

▶日曜・祝日営業及び閉店時間延長◀

下記の期間、日曜営業並びに営業時間の延長を実施致します。

○日曜・祝日営業

4月28日(日)～5月31日(金)まで

○営業時間延長

**4月22日(月)～8月31日(土)までの間
8時30分～18時まで**

▶春の園芸用品売出しについて◀

毎年大好評の園芸市を下記の通り開催いたします。

○開催期間 **4月28日(日)～5月6日(月)まで**

○開催場所 **グリーンセンター**

※期間中は大変混雑する
ことが予想されますので
ご了承ください。



地区別組合員懇談会開催

1月15日(火)から19日(土)にかけて各地区にて地区別懇談会が開催されました。



懇談会では組合長を始め

参考、各部長より事業の進捗状況や決算見込みなどが説明され、それぞれ質疑応答が行われました。

質疑応答についての詳しい内容は別紙の通りです。



第11号

各課
紹介

管理部 経理課

- 課長 佐藤 貴幸 (下段左から2人目)
- 係長 原口 政宏 (下段左から3人目)
- 主査 横山 佳奈 (下段左)
- 係 三戸部優子 (上段左から4人目)
- // 原 のぞみ (上段左から2人目)
- // 田口 亜美 (上段左)
- // 河辺 一希 (上段左から3人目)
- 係(囑託) 菊地こすえ (上段左から5人目)



コメント

当課はJAの内部経理を中心に会計事務を担っています。迅速な事務処理と効率化を図り正確で明瞭な経理を行っています。

広報担当者より

経理課は農協の会計事務を行い、各課のサポートを実施しています。組合員の皆さんと直接、コミュニケーションをとる機会は少ないのですが、気さくで明るい雰囲気でお応えも実施しています。

今回は生活部店舗課をご紹介します。



退職時の安藤審査役(56歳)



20年前の安藤審査役(35歳)
(当時：マイカー
センター係長)

平成31年3月1日付
▽安藤 拓郎
(購買部審査役)

退職
され
ました

本年3月1日をもちまして、JA伊達市を退職致しました。

昭和58年4月に奉職して以来36年にわたり勤めさせて頂くことが出来たのはひとえに、組合員・役職員の皆様方のご厚情の賜と深く感謝いたしております。

在職中は組合員・役職員の皆様と共に伊達市農業協同組合の事業の発展のために取り組んでまいりました。

今後の農業・JAを取り巻く環境は、より一層厳しくなる事が想定されますが、組合員・役職員が力を合わせJA伊達市の増々のご発展をご祈念いたしまして退職のご挨拶とさせていただきます。



農と食の
総合雑誌

地上

GOOD EARTH

お申し込みは JA へ

定価(税込み) / 普通月号……606円
付録付号(5・11月号)……668円

JAの家庭雑誌

お申し込み受付中

あなたの元気が
わたしの元気

家の光

- 普通月号
税込 **617**円
- 付録月号
(1・4・5・7・9月号)
税込 **906**円
- 付録月号
(家計簿付12月号)
税込 **1,008**円

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。J A北海道大会決議事項の実績やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道 中央会



J Aグループ北海道は、児童養護施設からの卒業を控えた高校生を対象とした調理実習体験「おとなの食育」を札幌市内で開催しました。

この取り組みは、自立支援活動として、J Aグループ北海道と興正子ども家庭支援センターが共催しており、今回で6回目の開催となります。

高校卒業後、一人暮らしを始める生徒が多く、施設から



望を持ってもらうことを目的に「ファイターズ・ドリームシート」に協賛し、今シーズンには福祉団体を通じて1,200名余りの子供達を招待しました。



「初めて野球の試合を見て楽しかったです。」「声がかれるほど応援しました。」等の感想をいただき、多くの子供達に楽しんでいただきました。

単立した後も栄養バランスを考えた食生活を送ってもらい健康に過ごしてほしいという趣旨で実施しています。高校生10名が参加し、身体に必要な栄養素や食材の消費・賞味期限など食の知識について学んだ後は、調理実習に挑戦。グループに分かれて役割分担をし、協力して楽しく料理する姿が見られました。

J A北海道 信連



J Aバンク北海道は、地域貢献活動の一環として、野球観戦を通して子供達に夢や希

ホクレン



J Aとホクレンは労働力確保が深刻になりつつある生産現場と、障がい者の社会参加を希求する福祉側とのマッチングを目指す福祉連携研修会を昨年12月、札幌市内のホクレンビルで開催しました。大

学研究者や実際に障がい者を雇用している生産者・J



Aの他、北海道庁職員ら70人余りが参加。グループディスカッションでは農福連携の実現に向けた課題と、今後の可能性などについて積極的な意見交換が行われました。

J A共済連 北海道



J A共済では、「子ども共済」資料請求キャンペーンを実施しております。

Webで「子ども共済」の資料をご請求いただいた方に「J A共済オリジナル アンパンマンお食事エプロン」をプレゼントしております。キャンペーンは平成31年3月20日(水)までで、先着60,000名様となっております。

この機会にJ A共済のホームページにアクセスいただけますようお願いいたします。



J A北海道 厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様方の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。



理事会のうごき

第28回理事会…平成31年2月26日(火)

- ▶平成31年度事業方針(案)について
- ▶JA農業経営緊急支援資金(転貸)の貸付について
- ▶譲渡(家畜)担保評価額・頭数の設定基準について
- ▶第3・四半期自己監査回答(案)について
- ▶決算棚卸日程等について
- ▶決算監査日程について(3月27日～29日)
- ▶地区別組合員懇談会の意見質問に対する回答について
- ▶平成31年度役員報酬の諮問について
- ▶平成31年度監査計画案について
- ▶平成31年度経営定期点検実施計画案について
- ▶平成31年度伊達市・登別市(縁故債)入札枠設定について
- ▶諸規程等の一部改正並びに新設について(職員就業・準職員就業・安全衛生・育児及び介護・災害対策・マネーロンダリング・反社会勢力対応)
- ▶マネロン等対策強化に伴うリスク評価書の制定について

未来を変える。みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業「伊達地区」 Vol.20

～地区推進委員会の代表・副代表が決まりました～

先月号でお知らせしましたが、期成会内に「地区推進委員会」を設置しました。地区推進委員会は、受益者の皆さんで構成する組織となっていて、今後は代表・副代表を中心に、各地区の受益者から寄せられた意見や課題の調整等を行います。また、今後の説明会についても、この地区ごとに開催しますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

地区名	役職	氏名	地区名	役職	氏名	地区名	役職	氏名	
関内上地区	代表	近江 一英	関内中地区	副代表	高木 有市	長和中地区	代表	大坪 光則	
	副代表	阿部 奉夫		副代表	白石 浩一		副代表	荒川 盛興	
		唐澤 健康			関内下地区			副代表	大和田和彦
		堀籠 司	坂元 博光						上野 嘉博
		三品 優明	坂東 俊昭						遠藤 活典
		矢野 徳幸	真柳 昭夫						流 重雄
矢野 雅宏	長和上地区	代表	八木沼保幸	代表	小貫 豊				
関内中地区			代表		鈴木 亨	副代表	佐藤 秀徳		
					副代表		八木沼昭一	副代表	前田 幸彦
							山本 健市		結城 三博
	横岸澤律夫	遊佐 義秀							

※敬称略(役職・50音順)

◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期成会事務局

(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内 TEL0142-23-3331 内539)